

「学級閉鎖〇をめざして 換気の取り組み」

～ピア・サポート活動のコミュニケーションスキルを学びながら～

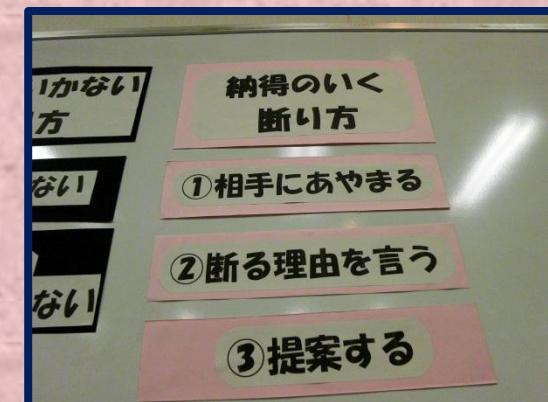
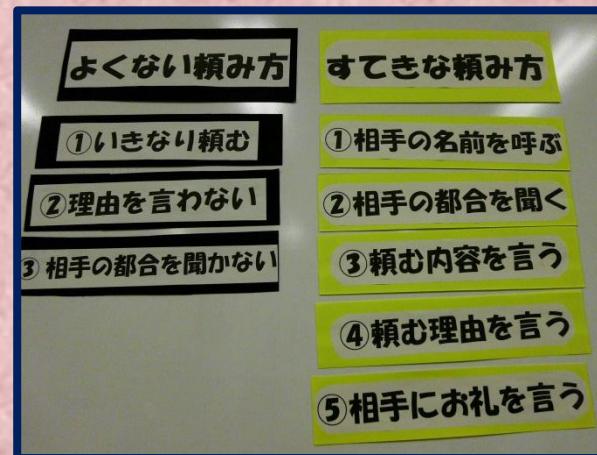
保健委員会

保健委員会では、風邪やインフルエンザによる学級閉鎖を〇（ゼロ）にするために、昨年度から毎休み時間ごとに保健委員が5分間教室の換気をする取り組みをしています。

保健委員は休み時間になると、各教室で自作の「換気ステッカー」の貼ってある窓を開けます。でもクラスのみんなの協力なしには成功しません。「寒いから開けんといて！」「かえって風邪ひくやんか！」と言われると、「開けにくいな」「開けるとまた何か言われそう・・・」と換気がうまくできません。

そこで、先日の保健委員会ではピア・サポート活動から

「上手な頼み方・納得のいく断り方」を学びました。



ロールプレイや、例題で練習してから、実際の課題について考えます。

①

- ・「ものすごく風のきつい日に、換気のため窓を開けようとしています。
みんなに協力してもらうためには？」

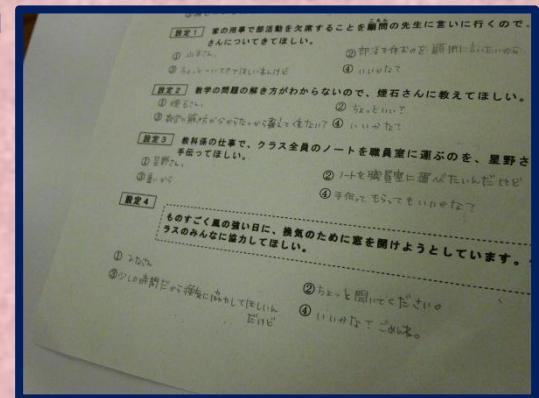
①みんな ②ちょっと聞いて

③ちょっとの時間やから、

換気に協力してほしいんだけど

④いいかな？ごめんね」

- ・だまって開けて、文句言われるより、
よっぽど気持ちのいい頼み方ですね。



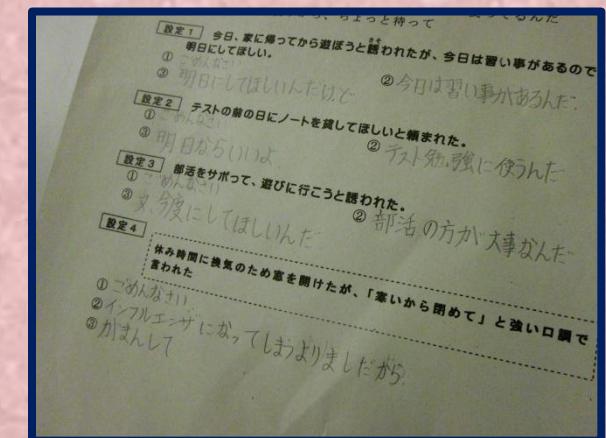
②

- ・「休み時間に換気のために窓を開けたが「寒いから閉めて！」と強い口調で
言われた時」

あなたならどうする？

- ① ごめんね
- ② インフルエンザに
かかってしまうよりはましやから
- ③ 我慢して」

- ・こういわれるとクラスのみんなも協力
しないわけにはいきませんね。



感想

- ・最後に感想です。
- ・クラスの換気のために協力してもらうのに、役立つと思った。一言あれば気を悪くしないと思った（3年）
- ・うまく頼めば、言った方も言われた方も気持ちよく過ごせるので、努力しようと思った。（2年）
- ・ちょっと換気はめんどくさいけど、がんばってみようと思った。一方的に開けるんじゃなくて、「ステキな頼み方・納得のいく断り方」を使って、みんなで協力してやってみようと思った。（1年）
- ・よくない頼み方をされたこともあるけど、「ごめん」「ありがとう」と言ってくれたから納得ができた。それに自分もよくない頼み方はしないようにしようと思った。（1年）